



【お名前】

いまい しんじ
今井 伸治

【現職（所属）】

社団法人 日本有機資源協会
（略称：JORA（ジョラ））
専務理事

【略歴】

新潟県生まれ。昭和49年農林水産省入省、環境省出向、農林水産本省課長、（独）農林水産消費安全技術センター勤務後、現職。

（社）日本有機資源協会は、カーボンニュートラルなバイオマスの利活用について幅広い業務を展開。各種バイオマス（有機資源）を、バイオ燃料利用やマテリアル利用できるように変えて、地域の循環型社会の構築と環境保全に寄与。国が進めている地域の全体プランである「バイオマスタウン構想」の作成と、それにもとづいた「実行」について積極的に支援。バイオマスプラスチックなどの「バイオマスマーク商品」も審査・認定。また、各種研修会の開催や、展示会、フォーラム、サロンなどの開催、一般書、技術書なども出版。

今後とも、JORAの活動を基本に、「バイオマス・ニッポン」の実現に向けて諸活動に取り組み。

【カーボン・オフセットに関する取組、一言コメント】

カーボン・オフセットは、今後一層、国民、消費者に知られ、かつ参加できるようにするのが重要だと考えている。そのため、カーボン・カットに有効に寄与することが理解されること、その仕組みがわかりやすいことなどが大事である。併せて、1人1人のカーボン排出量の認識、いろいろな商品のカーボン排出量表示の取組みも重要である。

国内で身近に取り組んでいるバイオマスマーク商品（バイオマスプラスチック製の容器など）や、各種のバイオマスエネルギー（木質ペレット燃料、バイオガス燃料、バイオディーゼル燃料など）についても幅広く、カーボン・オフセットの仕組みに関連づけられれば、更に国民・消費者のカーボン・オフセットに対する参加意識が広がるものと考えている。

